

強い人材が強い企業をつくる

公的
資格試験

ビジキヤリ[®]

ビジネス・キャリア検定試験[®]



厚生労働省が定める職業能力評価基準に準拠

後援：厚生労働省（ロジスティクス分野後援：経済産業省／国土交通省）

令和5年度 試験日程

前期試験

1級

2級

3級

後期試験

2級

3級

BASIC級

試験日 令和5年10月1日(日)

試験日 令和6年2月18日(日)

申請期間 令和5年4月10日(月)～令和5年7月14日(金)

申請期間 令和5年10月2日(月)～令和5年12月8日(金)



JAVADA
JAPAN VOCATIONAL ABILITY DEVELOPMENT ASSOCIATION
中央職業能力開発協会
(職業能力開発促進法により設立された公的団体)

ビジネス・キャリア検定試験“ビジキャリ”とは？

職務を遂行する上で必要となる知識の習得と実務能力の評価を行うことを目的とした試験です。

8分野41 試験

8分野41 試験から自分の職種にあった受験が可能。厚生労働省が定める職業能力評価基準に準拠。

人事・人材開発・労務管理／経理・財務管理
営業・マーケティング／生産管理
企業法務・総務／ロジスティクス
経営情報システム／経営戦略

ビジキャリ 3つの特長

60万人超の実績

全国47都道府県で実施される
延べ受験者数60万人超の、
実績ある試験です。

企業規模を問わず幅広い業種の企業様に
ご活用いただいております。

5,500円からの 社員教育

低コストで即戦力をつける、
5,500円*から始める社員教育。

*BASIC級ロジスティクスの受験で、お一人様の
受験料(税込3,300円)とテキスト1冊
(税込2,200円)購入の場合。

職業能力評価基準とは何ですか？

職業能力評価基準は、仕事をこなすために必要な「知識」などに加え、成果につながる典型的な「職務行動例」について、担当者から組織部門責任者までの4つのレベルを設定し、業種別、職種・職務別に整理・体系化しています。また、採用や人材育成、人事評価、さらには検定試験の「基準書」として、様々な場面で活用できるものとなっています。

ビジネス・キャリア検定試験はいつから始まったのですか？

ビジネス・キャリア検定試験は、平成6年度に、当時の労働省の委託事業として、労働大臣認定講座の修了者などの教育訓練の成果を確認するためのビジネス・キャリア制度修了認定試験（ビジネス・キャリア・ユニット試験）として始まりました。平成19年度からは、それまでの試験単位のユニットを企業の職務内容に大括り化し、企業実務に即した専門的知識・能力を客観的に評価するための試験として、現在のビジネス・キャリア検定試験の形態となりました。その後、平成22年度からは、当協会独自の事業として実施し、現在に至っています。

試験分野・試験区分

令和5年度の試験は、前期・後期の2回です。試験区分は前期・後期とも、下表のとおりです。

※1級は前期試験のみ、BASIC級は後期試験のみの実施です。

試験分野	試験区分			
	1級	2級	3級	BASIC級
人事・人材開発・ 労務管理	人事・人材開発・ 労務管理	人事・人材開発	人事・人材開発	
		労務管理	労務管理	
経理・財務管理	経理・財務管理	経理	経理（簿記・財務諸表）	
			経理（原価計算）	
		財務管理（財務管理・管理会計）	財務管理	
営業・ マーケティング	営業・ マーケティング	営業	営業	
		マーケティング	マーケティング	
生産管理	生産管理	生産管理プランニング	生産管理プランニング	生産管理
		生産管理オペレーション	生産管理オペレーション	
企業法務・総務	企業法務	企業法務（組織法務）	企業法務	
		企業法務（取引法務）		
	総務	総務		
ロジスティクス	ロジスティクス	ロジスティクス管理	ロジスティクス管理	ロジスティクス
		ロジスティクス・オペレーション	ロジスティクス・オペレーション	
経営情報システム	経営情報システム	経営情報システム（情報化企画）	経営情報システム	
		経営情報システム（情報化活用）		
経営戦略	経営戦略	経営戦略	経営戦略	

試験概要

等級区分

試験の対象者等は、下表のとおりです。受験資格等は設けていません。どの等級からでも受験いただけます。

	受験対象者として想定される方	合格者に期待される人材像
1級	実務経験10年以上 (部長、ディレクター相当職を目指す方)	企業全体の戦略の実現のための課題を創造し、求める目的に向かって効果的・効率的に働くために、一定の専門分野の知識及びその応用力を活用して、資源を統合し、調整することができる。
2級	実務経験5年程度 (課長、マネージャー相当職を目指す方)	当該分野又は試験区分に関する幅広い専門知識を基に、グループやチームの中心メンバーとして、創意工夫を凝らし、自主的な判断・改善・提案を行うことができる。
3級	実務経験3年程度 (係長、リーダー相当職を目指す方)	当該分野又は試験区分に関する専門知識を基に、担当者として上司の指示・助言を踏まえ、自ら問題意識を持ち定例的業務を確実に実行することができる。
BASIC級	学生、就職希望者、内定者、 入社してまもない方	仕事を行ううえで前提となる基本的知識を基に仕事の全体像が把握でき、職場での円滑なコミュニケーションを図ることができる。

出題範囲

中央職業能力開発協会のホームページで確認できます。

<https://www.javada.or.jp/jigyuu/gino/business/bunya.html>

試験会場

試験は**全国47都道府県**で実施します。試験会場の詳細については、受験申請受付開始の案内時に、ホームページ (<https://www.javada.or.jp/jigyuu/gino/business/shiken-place.html>) にてお知らせします。

出題形式等

試験は、筆記試験で行います。出題形式等は下表のとおりです。なお、2級、3級、BASIC級はマークシート方式です。

	出題形式	出題数	合否基準	試験時間
1級	論述式	2問	試験全体として概ね60%以上 かつ問題毎に30%以上の得点	150分
2級	5肢択一	40問	出題数の概ね60%以上の正答	110分
3級	4肢択一	40問	出題数の概ね60%以上の正答	110分
BASIC級	真偽法	70問	出題数の概ね70%以上の正答	60分

※関係法令、会計基準、JIS等の各種規格等に基づく出題については、原則として、前期試験は試験実施年度の5月1日時点、後期試験は試験実施年度の11月1日時点で施行されている内容に基づくものとします。

受験料

受験料(税込)は、下表のとおりです。

	1級	2級	3級	BASIC級
受験料	11,000円	7,700円	6,200円	3,300円

受験申込手続

	一般申請 (個人で申請する場合)	一括申請 (企業(法人)で申請する場合)
概要	○受験者個人が申込手続を行う申請方法です。	○企業、教育訓練機関、学校などが、その所属する従業員、受講者、学生・生徒である受験希望者に代わり、受験申込手続を一括して行う申請方法です。 ※一括申請を行う場合は、試験結果等が企業等に送付されることについて受験希望者の同意を得た上で、申込みをしてください。
申請方法	○インターネットからのお申込み https://www.kentei-uketsuke.com/career/	○Bizキャリア HP から「受験申請書入力フォーム（受験料企業一括払い用）」又は「受験申請書入力フォーム（受験料個人払い用）」をダウンロードし、必要事項を記入した上で、企業一括申請受付センター (info_bc@nippan.co.jp) にメールで送付する。 ※受験者個人が受験料を支払う場合は、上記とは別に個人がインターネットから申込みする必要があります。 https://www.kentei-uketsuke.com/career/
支払方法	○クレジット決済 ○コンビニ決済	【企業等で一括払いする場合】 ○請求書発行後、受験者全員分の受験料を一括で指定口座へ振込み 【受験者が個人払いする場合】 ○クレジット決済 ○コンビニ決済
注意事項	○インターネットからのお申込みの場合、等級にかかわらず、1 試験の申請では 400 円（税込）、2 試験の申請では 650 円（税込）の申込手数料が必要となります。	
	○いずれの申請方法でも、 <u>受験申請後の試験区分変更、試験地変更、受験者変更・取消し・返金はできません。</u> 次回への繰り越しもできませんので、ご注意ください。ただし、天変地変等の受験申請者の責によらない事由により受験できなかった場合で、当協会が認めたものについては受験料を返還します。（申込手数料は含みません。）	
	○お身体に障がいをお持ちの方については、受験申請の前にビジネス・キャリア検定試験運営事務局（E-mail： business-career@kentei-uketsuke.com ）へお問い合わせください。 ○一括申請を予定されている場合は、 https://www.kentei-uketsuke.com/sys/career/ikkatsu/ をご確認くださいか、ビジネス・キャリア検定試験企業一括申請受付センター（E-mail： info_bc@nippan.co.jp ）にお問い合わせください。	

自施設における試験の実施

企業、教育訓練機関、学校などで、その所属する従業員、受講者、学生・生徒などの受験希望者に対して自らの施設において試験を実施することを希望する施設は、中央職業能力開発協会会長の認定を受けることにより、認定施設として自施設において試験を実施することができます。

認定施設になることを希望する施設は、あらかじめ中央職業能力開発協会に対して認定申請を行い、認定基準を満たすことが必要となります。

詳しくはホームページをご確認ください。

<https://www.javada.or.jp/jigyou/gino/business/nintei-sisetu.html>

試験日程

< 前 期 >

区 分	日 程
受験申請受付期間（個人・一括申請）	令和5年4月10日（月）～ 令和5年7月14日（金）
「受験票」の送付	試験実施日の概ね2週間前
試験実施日	令和5年10月1日（日）
合格発表日	[2・3級] 令和5年11月6日（月） [1級] 令和5年12月8日（金）

試験当日の実施時間帯				
午前			午後	
10:45～13:15	10:45～12:35		14:30～16:20	
1級	2級	3級	2級	3級
1級人事・人材開発・ 労務管理	2級人事・人材開発	3級労務管理	2級労務管理	3級人事・人材開発
1級経理・財務管理	2級経理	3級経理（原価計算）	2級財務管理 （財務管理・管理会計）	3級経理 （簿記・財務諸表）
1級営業・ マーケティング	2級営業	3級財務管理	2級マーケティング	3級営業
1級生産管理	2級生産管理オペレーション	3級マーケティング	2級生産管理プランニング	3級生産管理 プランニング
1級企業法務	2級企業法務（取引法務）	3級生産管理 オペレーション	2級企業法務（組織法務）	3級企業法務
1級ロジスティクス	2級ロジスティクス管理	3級総務	2級総務	3級ロジスティクス管理
1級経営情報システム	2級経営情報システム （情報化企画）	3級ロジスティクス・ オペレーション	2級ロジスティクス・ オペレーション	3級経営戦略
1級経営戦略	2級経営戦略	3級経営情報システム	2級経営情報システム （情報化活用）	

試験当日またはその前後に不測の事態（自然災害等）が発生した場合は、試験の開催状況について
<https://www.javada.or.jp/jigyuu/gino/business/index.html> 上で、お知らせいたします。

＜ 後 期 ＞

区 分	日 程
受験申請受付期間（個人・一括申請）	令和5年10月2日（月）～ 令和5年12月8日（金）
「受験票」の送付	試験実施日の概ね2週間前
試験実施日	令和6年2月18日（日）
合格発表日	令和6年3月15日（金）

試験当日の実施時間帯				
午 前			午 後	
10:45～11:45	10:45～12:35		14:30～16:20	
BASIC 級	2 級	3 級	2 級	3 級
BASIC 級生産管理	2級人事・人材開発	3級労務管理	2級労務管理	3級人事・人材開発
BASIC 級 ロジスティクス	2級経理	3級経理 (簿記・財務諸表)	2級財務管理 (財務管理・管理会計)	3級経理(原価計算)
	2級営業	3級財務管理	2級マーケティング	3級営業
	2級生産管理オペレーション	3級マーケティング	2級生産管理プランニング	3級生産管理 オペレーション
	2級企業法務(取引法務)	3級生産管理 プランニング	2級企業法務(組織法務)	3級企業法務
	2級ロジスティクス管理	3級総務	2級総務	3級ロジスティクス管理
	2級経営情報システム (情報化企画)	3級ロジスティクス・ オペレーション	2級ロジスティクス・ オペレーション	3級経営情報システム
	2級経営戦略		2級経営情報システム (情報化活用)	3級経営戦略

試験当日またはその前後に不測の事態（自然災害等）が発生した場合は、試験の開催状況について
<https://www.javada.or.jp/jigyuu/gino/business/index.html> 上で、お知らせいたします。

学習支援のご案内

ビジネス・キャリア検定試験「標準テキスト」のご案内

受験対策はもちろんのこと、ビジネス・パーソンの自学自習用教材、企業における集合研修用教材、就職を控えた学生・内定者の事前学習用教材としてもご利用いただけます。

「標準テキスト」は、

- 全国の紀伊国屋書店 (<http://www.kinokuniya.co.jp/>) 他、
- 社会保険研究所 (<https://shop.shaho.co.jp/shopbrand/ct111>)
で購入できます。

「標準テキスト」の内容・価格などは、こちらからご確認ください。

<https://www.javada.or.jp/jigyou/gino/business/gakusyu.html>



※令和2年3月発刊から順次、デザインをリニューアルしています。

ビジネス・キャリア検定試験「過去問題解説集」のご案内

以下の各機関では、過去問題解説集を発売しています。詳しくは、各機関へお問い合わせください。

- 一般社団法人 雇用問題研究会 (<http://www.koyoerc.or.jp/publication/businesscareer.html>)
- 公益財団法人 日本生産性本部 (<http://consul.jpc-net.jp/BC/kakomon.html>)
- 株式会社 流通研究社 (<https://mf-p.jp/books/>)

ビジネス・キャリア検定試験「認定講座」のご案内

中央職業能力開発協会では、「ビジネス・キャリア検定試験」の試験区分に対応した教育訓練講座を認定しています。受験対策に、体系的な学習に、是非ともご利用ください。

「認定講座」を開設している機関・開設されている講座につきましては、こちらからご確認ください。なお、講座内容の詳細は、各機関にお問い合わせください。

<https://www.javada.or.jp/jigyou/gino/business/gakusyu.html>

ビジネス・キャリア検定 認定講座実施機関一覧

実施機関名称
株式会社 NMR 流通総研
一般社団法人 日本マテリアルフロー研究センター
株式会社イー・ロジット
株式会社NX 総合研究所
キャリア・コンサルタント協同組合
東芝ビジネスエキスパート株式会社

実施機関名称
職業訓練法人 日本技能教育開発センター
高崎問屋街職業訓練会
流通経済大学 新松戸キャンパス
株式会社エム・エスオフィス
志學館大学
ロジクエスト株式会社
名古屋文化短期大学

※最新の情報はホームページをご覧ください。

試験問題例

※正解はページ右下をご覧ください。

試験で出題したビジネス・キャリア検定試験問題については、ビジネス・キャリア検定ホームページで順次公開しております。

<https://www.javada.or.jp/jigyoku/gino/business/gakusyu.html#mondai>

3級人事・人材開発

例題

以下は、いずれもA社の中で働いている人である。そのうちA社との雇用関係がある人を選びなさい。

- ア. 期間工 イ. 派遣労働者 ウ. 請負労働者 エ. 社外工

3級ロジスティクス管理

例題

物流コスト削減目的でのサービス見直しの記述として不適切なものは、次のうちどれか。

- ア. 家具小売業A社は、倉庫での商品のピッキング、梱包、配送サービスについて、消費者が自分で行うこととし、商品価格を見直した。
イ. 通信販売業B社は、従来、配送先の地域に応じた配送料を設定していたが、顧客サービスを向上させるため、一定額以上購入した場合に配送料を無料とすることとした。
ウ. 通信販売業C社は、従来、原則翌日配送としていたが、標準の配送リードタイムを2～3日に延ばすと同時に、翌日配送のサービスを有料化することとした。
エ. 食品製造業D社は、従来からパレットを最低受注ロットとして設定していたが、この度、車両フル積載に相当する大ロット受注の場合に、商品価格を割り引く制度を導入した。

3級生産管理プランニング

例題

資材計画に関する記述として不適切なものは、次のうちどれか。

- ア. 資材計画は、生産計画で示された生産品に必要な各種部品（購入品、加工品）の必要量と必要時期（納期）などを決める計画で、購買計画や在庫計画等の基礎となる。
イ. 資材計画の不備により、品質の低下、原価高、在庫増、死蔵品の増加、納期遅延、在庫回転率の低下など計り知れない損失を生み出すことになる。
ウ. 資材計画は、サマリー型やストラクチャー型の部品表を使って購入品と加工品の所要量を算出する。
エ. 資材計画で算出された資材の所要量は、直ちに正味所要量として発注（購買）手配に移る。

2級労務管理

例題

育児・介護休業法、男女雇用機会均等法で定める休暇、休業に関する記述として不適切なものは、次のうちどれか。

- ア. 要介護状態の家族を介護する労働者からの介護休暇の申し出は、口頭ではできない。
イ. 要介護状態の家族を介護する労働者から、介護休業の申し出があった場合には、事業主は、対象家族が要介護状態にある事実を証明する書類の提出を求めることができる。
ウ. 小学校就学前の子を養育する労働者が、子の看護休暇を申し出た場合には、事業主は、子の病気を証明する書類の提出を求めることができる。
エ. 労働者が育児休業を申し出る方法としては、書面によるもののほか、事業主が適当と認めた場合には、電子メール又はイントラネットを使用して、送信する方法も可能である。
オ. 妊娠中の女性労働者から、「医師又は助産師から、通勤緩和、勤務時間短縮等の措置が必要であると認められると指導された」と申し出があった場合には、事業主は、母性健康管理指導事項連絡カードの提出を求めることが望ましい。

(ア) : 要介護状態の家族を介護する労働者からの介護休暇の申し出は、口頭ではできない。 (イ) : 要介護状態の家族を介護する労働者から、介護休業の申し出があった場合には、事業主は、対象家族が要介護状態にある事実を証明する書類の提出を求めることができる。 (ウ) : 小学校就学前の子を養育する労働者が、子の看護休暇を申し出た場合には、事業主は、子の病気を証明する書類の提出を求めることができる。 (エ) : 労働者が育児休業を申し出る方法としては、書面によるもののほか、事業主が適当と認めた場合には、電子メール又はイントラネットを使用して、送信する方法も可能である。 (オ) : 妊娠中の女性労働者から、「医師又は助産師から、通勤緩和、勤務時間短縮等の措置が必要であると認められると指導された」と申し出があった場合には、事業主は、母性健康管理指導事項連絡カードの提出を求めることが望ましい。

Case 1

サンコー株式会社様



人材育成の体制再構築に手段の一つとして組み込む
—社長自ら受験し、身をもって良さを実感—

会社概要

設立 1961年

従業員数 約320名

本社 香川県高松市朝日新町20-4

事業内容 各種産業用締結ねじ部品・精密機能部品の設計、製造、販売



— ビジネス・キャリア検定試験はどのような経緯で導入されたのでしょうか。 —

送られてきたビジキャリアの案内を見たのがきっかけです。営業の仕事に何か資格のようなものはないかなと日頃から感じていたんです。厚生労働省も後援してるし、営業だけではなくていろいろな分野もあって、これは面白いなと。営業職以外の間接部門——総務、経理、物流などの社員も、こうしたものがあればある程度具体的な目標もできていいのではないかとということもありましたね。

— どのような形でビジキャリアを運用されていますか。 —

最初に「こういうのをやりますよ」と全社員に一斉配信し、希望者を募りました。受験申込みは個人が本社に提出して、そこで一括申請しています。各試験を初めて受験する際の受験料、テキスト代は会社で負担しています。不合格で再チャレンジの場合は個人負担になりますが、違う試験区分を受験する場合は初めてということになりますから会社負担です。

どういう制度でどういう支援があるといったことはだいたいみんな知っていて認識されていますね。受験の日が近くなってくると「勉強どこまでやったんや？」という言葉が社員同士の会話の中によく出てきたりしますし、みんな結構楽しんでるところはあります。複数の分野を受ける社員も多いです。

— 受験者の方は、勉強する時間などそれなりに準備が必要かと思いますが、いかがですか。 —

私（社長）自身も受けてみたんですが、やはり勉強に時間はかかりますね。特に自分が今まであまりやっていない分野を受けてみようと思ひ、テキストを一から読みました。でも、当然合格したら嬉しいですし、だめでも「また次頑張ろう」という気持ちになる。最初に私が社員に言ったのは「勉強することに意義があるんだ」ということです。社会人になってだいぶ経つと、なかなかきちんと勉強する機会がないですよ。自分でやってみると、非常に刺激になって、いいことだと感じています。

— 人材育成、社員教育について今後どのように取り組まれていかれますか。 —

営業の面では、いろいろな人材を揃えておきたいという思いがあります。できるだけ社員の個性によって、合うお客様を当てるようにするわけです。個性はどんどん伸ばしていきたいという部分もありますが、個性だけでは通用しません。ベースには知識・スキルも当然身に付けておかねばいけません。その手段の一つとしてビジキャリアもあります。人材育成の体制を再構築していく中で社員の自己啓発を後押しする手段の一つとして機能していると思いますし、今後も利用させていただきたいですね。

実際にこれを導入する時、どのくらい反応があるか多少不安はあったんですけども、任意受験でも予想以上の人数が受けていましたし、それが2回目、3回目と続いています。手前味噌な言い方になりますが、うちの社員もなかなかやる気はあるな、と思いました。自分が今までやってきていないような分野の仕事についても知ることができれば、それはそれで役に立つこともあるでしょうし、幅広く勉強してほしいですね。

活用企業の声（企業様の活用事例）の詳細は
ホームページで公開しています。
その他の企業様の事例も掲載中です！



Case 2

株式会社南雲製作所 様



評価に組み込んで社員のモチベーションをアップ ー技能検定とともにビジキャリを制度化ー

会社概要

設立 1958年
従業員数 102名（2022年1月1日現在）
本社 新潟県上越市三和区野 5823-1（主力工場）
事業内容 精密金型設計製作、精密部品加工



ー どのようなきっかけでビジキャリを導入されたのでしょうか。

弊社は製造業なので、もともと技能検定にはずっと取り組んでいました。それで付き合いのあった県の職業能力開発協会からのお知らせでビジキャリのことを知りました。20年以上前だと思います。会社としてもこれはいいなということで、受験するようにと推奨したのが始まりですね。

ー ビジキャリを導入された目的はどのようなところでしょうか。

社員の自己啓発ですね。技能系に技能検定があるように、ホワイトカラー職でも資格を取ってほしいんです。それで、合格者には3級・2級それぞれ手当も付くように制度化してモチベーションアップにつなげています。

技能検定についてはだいぶ前から手当が付いていたので、事務系にもそうしたものがあればやる気も出るだろうと。技能検定とともにビジネス・キャリア検定の取得という文言を盛り込んで制度として人事考課に組み込んだわけです。昇格・昇給等の評価の参考にもしていますので、とても役立っています。

ー 社内でかなり根付いている感じですね。合格されている分野も幅広いですね。

事務系社員はそれぞれの業務に応じて受験の分野も多岐にわたっています。業務が幅広く多様なため、一つのことができればいいというわけではなくていろいろとできなくてはいけないので、「多能工化」というのが合い言葉になっている感じですね。

すべての社員が何でもできるなどということは実際にはありませんが、なるべくできることを増やしていく。ビジキャリでも一人の社員が複数の分野を受けて知識や業務能力を広げ、高めていく、ということですね。今では製造部門にも波及し、多い時には30名を超える社員が受験するようになりました。

ー 社員の方々はビジキャリをどのように捉えていらっしゃいますか。

自分の実力を測るのにかなり有効だと感じているのではないかと思います。3級に受かった人は2級に挑戦したり、まったく別の分野にも挑戦しています。人間成長するという向上心が芽生えてきました。

ー 導入の効果という点ではいかがでしょうか。

従業員のモチベーションにつながりますし、会社も評価の基準の一つとして利用できます。漠然とした評価ではなく客観的な指標に基づいた評価ができる。結果として会社の力になり、会社が成長できる、ということです。半年前から準備して勉強することでスキルアップになっていると思いますね。受かるに越したことはないんですけども、もし不合格になったとしても半年間勉強したという事実は残るじゃないですか。われわれはその過程も見ているので。

今年は「これを受験しよう！」という目標を持って学び続けるという効果も生まれました。

ー ビジキャリ試験実施認定施設制度も活用されていますね。

従業員から、遠くの会場まで行くのが大変だという声もありましたし、ある程度受験者数も増えてきたので、平成25年にビジキャリ試験実施認定施設に認定していただき、自社で試験を実施できるようになりました。受験者の負担も少なくなり、受験しやすい環境になったことで大変好評です。

活用企業の声（企業様の活用事例）の詳細は
ホームページで公開しています。
その他の企業様の事例も掲載中です！



Case 3

NTS グループ
(株式会社 NTS ロジ、株式会社キョウエイ) 様



広く物流一般の知識を学び、お客様の視点に立つ
— ビジキャリで社員の学びの姿勢が顕在化 —

会社概要

設立 1971年
従業員数 500名
本社 東京都東久留米市柳窪 1-10-37
事業内容 運輸業（幹線輸送・地場配送（四温度帯）、物流センター運営、
仕分け・保管業務、流通加工業務）



— ビジキャリを導入された経緯を教えてください。

ホームページを見て知りました。何日も研修を受けるような資格はありますが、ロジスティクスの分野でこうした一般的な検定試験というのはなかなかなかったかなと思い、当時の部下に一度受けてもらいました。

私たちの目的はお客様の物流の最適化ですので、自分たちの最適ばかりを追いかけてしまってはいけません。お客様がどういう視点で見るかということに立てないと、お客様と話が通じなくなる。1つ上の視野を持つためには、広く物流一般の知識を得ることが必要だと思っていました。

荷主企業の物流担当者の方が多く受験されているようでしたので、当社でもこれは勉強しておかないと話にならないだろうということで、社内で推奨していくことになりました。

— 社内の制度としてはどのように位置づけられていますか。

一定の等級に昇格するためにはロジスティクス・オペレーション3級の受験が必須ということになっています。テキスト代と2回までの受験料は会社負担です。該当者が対象となる社内研修の中でビジキャリの話をして周知を図っています。

— 社員の方はビジキャリをどのように受けとめていらっしゃいますでしょうか。

学ぶ機会を持てたことに対して肯定的に受けとめていると思います。

業界内の言葉って、同じ物流でも食品やアパレルなど何を扱っているかによって、同じ物でも言い方が現場で違うんですよ。ビジキャリの標準テキストには共通の基本的な用語が載っているので、お客様から言われた言葉で「それ何だろう？」という時にいろいろ調べるわけですけど、テキストもその1つになっていますね。ビジキャリで使われている言葉が標準として根付いていると思います。

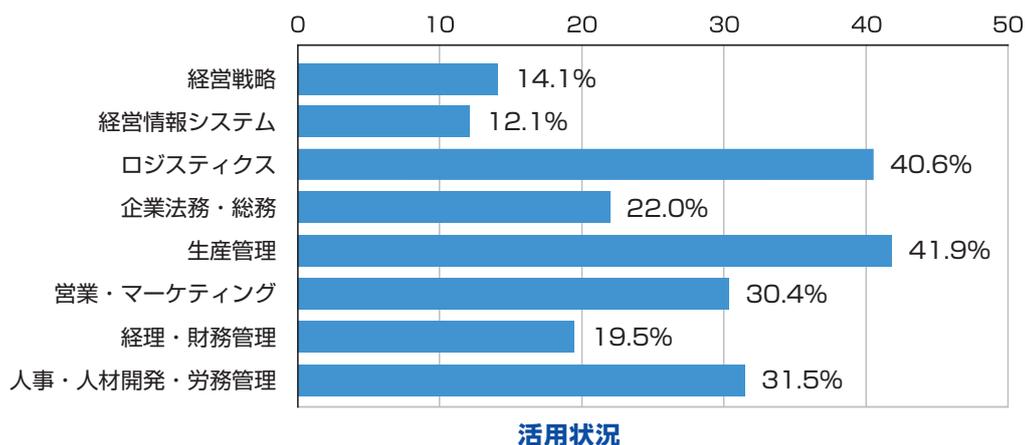
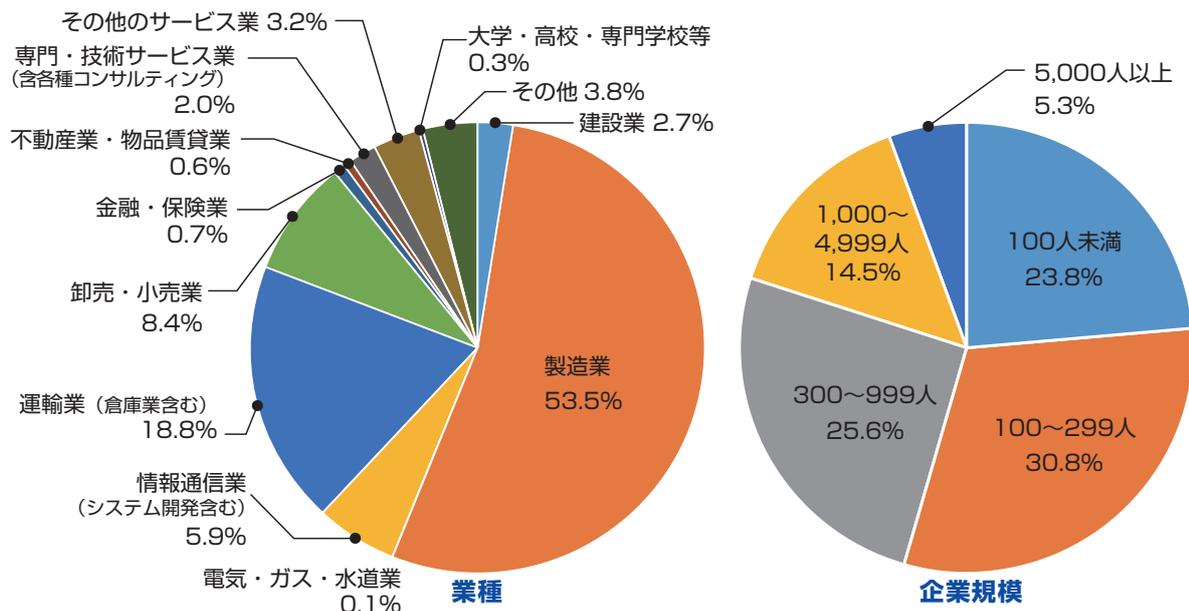
— ビジキャリ導入の効果などを感じられることはありますか。

社員の学習意欲とか知識を身につけようという姿勢が顕在化したということは感じますね。いろいろなことを学びたいというメンバーは本当にがむしゃらに学びますし、それが見えてきた。現場ではコミュニケーションが苦手が目立たない人が、勉強はすごく頑張っていて2級を取っていたりするのを見ることができました。

— 今後社員の方に期待されること、望まれることなどありますか。

物流というのは今までの業界の経験の積み重ねの部分が大きくて、なかなか中から変えていくということができなかったんです。それが今 DX 化の波で今までと違うプレイヤーがプラットフォーマーとして物流業界に参入し、まったく違うアプローチでイノベーションが起こりつつあります。基礎知識は前提としてももちろん必要なんですが、ロボット化・自動化も本格化するなど変化は激しいですから、ビジキャリを活用しながらできるだけタイムリーに現状と今後というところを体系的に学べればよいなと感じています。

一括申請企業データ



TOPICS

例年、合格率は1級で約15%、2級で約40%、3級で約55%、BASIC級で約60%です。
各試験区分の合格率については、
試験の実施結果 (<https://www.javada.or.jp/jigyou/gino/business/shiken-kekka.html>) をご覧ください。

ご活用いただいている企業様一覧（一例）

株式会社伊藤園／株式会社エイブルジャパン／株式会社 NTT データ東海／株式会社 OKI プロサーブ
株式会社オンド製作所／キチナングループ／キリングループロジスティクス株式会社／KDDI 株式会社
昭和電線ホールディングス株式会社／ツバキ山久チエイン株式会社／トピー実業株式会社／株式会社南雲製作所
株式会社名古屋銀行／浜名湖電装株式会社／林純薬工業株式会社／広島 Law & Business 専門学校
株式会社ヒロテック／福岡運輸システムネット株式会社／株式会社丸和運輸機関（50音順）

他にもたくさんの有名企業様にご利用いただいております！

合格者の声

1級人事・人材開発・労務管理

人事系の実務能力が確認できる信頼性のある試験・資格をビジキャリの他に思いつかず、部下にも受験を薦めています。今回の受験をとおり、総合的な知識の棚卸しと整理ができ、基本を押さえつつ大局観のある施策立案が可能となりました。今後は、人事系分野での各種施策推進に役立つ知識の最新化と深掘りを行うと同時に、経営戦略分野での知識・スキルとの融合に取り組もうと考えています。

ビジキャリは設問内容がタイムリーでバランスもよく、レベル感もよく考慮されていると思います。

(日本電子計算株式会社 國分 俊之 様)

1級経理・財務管理

1級経理・財務管理の試験は、財務会計、管理会計、税務会計、原価計算の知識がバランスよく問われていると思います。論述問題や記述問題も多いので、試験対策では問題演習以外にも、経理財務関係の興味がある分野の書籍を読むなどし、飽きずに勉強することができました。今後は、知識の幅を広げるために他の分野の勉強もしていきたいと考えています。

(未来工業株式会社 森 大翔 様)

2級営業 / 3級営業

コロナ禍でのテレワーク勤務や定時業務の中で営業活動を見直し、今後に備えると同時に、学習することで自身のスキルアップを図るため受験しました。標準テキストと過去問題集を使用し、学習しました。受験したことで、自身のスキルでの不足している部分や、得意とする部分を項目として明確にすることができました。

(みやざわ しんじ 様)

2級マーケティング

SEとして技術力のみならず幅広い知識や教養を身に付けることで、市場やお客様のことを理解し寄り添ったソリューションを提案・提供できると考えたため、ビジキャリを受験しました。自身の持つ能力を可視化することで、周囲の方からの評価や能力の裏付けを行なうことができました。また、技術に捉われない多角的な視野を養うことができました。

(東日本電信電話株式会社 新島 沙樹 様)

3級生産管理プランニング / 3級生産管理オペレーション

生産管理といっても会社ごとに特色があり、一般的にはどうなのか？という疑問がありました。今回、受験を通じて、一般的と言われる知識を身に付ける事ができ、お客様との会話もより一層理解できるようになりました。今まではシステム寄りの知識でしたが、業務寄りの知識を理解したことにより、生産管理全体の理解が非常にスムーズに進みました。

3級企業法務

資格試験として、ビジキャリは「営業～経理～法務等」と幅広く網羅しているため、会社が社内昇格要件として採用しました。必要な基礎知識を体系的に学習することができました。今回の受験をとおり、契約書等の理解はもとより労務管理の学習が必要であることに気が付いたので、次の学習に繋がってまいります。

(墨東化成工業株式会社 老田 英作 様)

2級総務

総務部へ異動になり、総務部の業務内容を理解するために受験した。試験に合格することは一つの目標になり学習のモチベーションにつながった。ビジキャリは、実際の業務において実践的に活用できる内容が多かったので、迅速に業務に対応できるようになった。また学習内容として、自分に関わりの少ない業務に関する情報も入っているが、幅広い知識を得ることで、総務全体の業務において判断できる基準が形成されスムーズに業務を進められるようになった。今後は、経営戦略について学んでいく考えである。

2級ロジスティクス管理

標準テキストやYouTubeの過去問動画シリーズで学習しました。物流業者ではありませんが、商材を調達する業務の中で、総合的な商材の流れの把握であったり、サプライヤー、取引業者、物流業者へのアドバイスや監査項目の確認、ポイント等を整理出来ました。サラリーマンであるため部署の異動は必須であり、今後、各部署に異動した際には**総合的・専門的知識の習得の為、試験を受験したい**と思います。過去問についてはYouTubeで反復勉強しましたが、**通勤中でもヒヤリングしながら勉強できたことが良かったです。**

(キリンシティ株式会社 調達部 森永 秀樹 様)

YouTube
ビジネスマンチャンネル



3級ロジスティクス管理

物流会社のシステム企画に携わったことが受験のきっかけです。**お客様(物流会社)が自社の社員に受験を勧めており、こちらも同じ資格があれば力になると考え、ビジネスマンを受験しました。**物流会社のシステム企画に関わり得た知識を整理して、理解することができました。

(ゼネラルソフトウェア株式会社 小林 奈都子 様)

BASIC 級ロジスティクス

自身のスキルアップの為、ビジネスマンを受験しました。新人教育の際、ビジネス・キャリア検定の内容を基に**分かりやすい説明ができるようになり、役立っております。**次回はロジスティクス3級を受験しようと思っております。

(株式会社栄興運 廣瀬 亮太 様)

2級経営情報システム (情報化企画) / 2級経営情報システム (情報化活用)

現在、経営戦略の分野について勉強しておりますが、経営戦略を理解していく中で、重要性を増している情報化戦略と情報化活用について理解を深めたいと考えたのが、受験の目的です。経営戦略の勉強においてもビジネスマンを活用し経営戦略2級を取得しました。その際、**学習に使用したテキストの内容が理解しやすかったこともあり、今回情報化戦略の分野の勉強においてもビジネスマンを活用しました。情報化企画と情報化活用の2級を取得したことで、理解を深めることが出来ました。**

ビジネスマンと他の資格との大きな違いは、職務遂行する上で、必要なことを網羅的に学ぶことが出来る点です。実際に行われている業務の流れ(上流から下流)に沿って業務イベント、手順、基本知識、メリット・デメリット、考え方を理解、勉強することが出来ます。受験・合格後は日々の業務においても勉強した知識を思い浮かべたり、これまでの業務手順の確認や業務の改善に活用しております。また職務の考え方、意識などにも少しずつ変化が生まれており、今も勉強して良かったと思います。

(株式会社デバイス&システム・プラットフォーム開発センター 表 広布史 様)

2級経営戦略

昇級・昇格制度への導入を検討するために受験しました。本試験を勉強することにより、新たな知識や世間の考え方を学べ、**単一企業内だけでの経験では偏りが生じてしまうであろう知識や考え方に、幅や深みを得ることができた**と感じています。**ビジネスマンが自己成長に役立つことがわかった**ので、現在は他分野の受験に向け、取り組んでいます。

(小林 大介 様)

中央職業能力開発協会

働く方々の職業能力の開発及び向上の促進を図ることを目的に、職業能力開発促進法に基づき昭和54年に設立されました。(厚生労働省所管)
現在、職業能力評価の専門機関として、職業能力が適正に評価されるための各種事業や、職業能力開発に関する様々な情報提供、相談援助等を通じて働く人々のキャリア形成を支援する事業を行うとともに、ものづくり尊重の気運を醸成するための技能振興に関する各種事業を都道府県職業能力開発協会と連携して行っております。

中央職業能力開発協会の主な事業

◆職業能力評価試験の実施

技能検定（国家検定）
コンピュータサービス技能評価試験（公的資格試験）
ビジネス・キャリア検定試験（公的資格試験）

◆キャリア形成の基盤整備

キャリア形成支援ツールの提供（CADS & CADI）
セミナー、講座の開催
教育訓練給付制度における講座指定の支援と指定講座に関する情報提供

◆ものづくり基盤の強化

技能五輪全国大会の実施
技能五輪国際大会への選手派遣
技能グランプリの実施
若年者ものづくり競技大会の実施
若年技能者人材育成支援等事業の実施

◆能力開発、技能評価関係図書が発行

お問い合わせ先					
名称	電話番号	名称	電話番号	名称	電話番号
北海道職業能力開発協会	011-825-2385	富山県職業能力開発協会	076-432-9883	和歌山県職業能力開発協会	073-425-4555
青森県職業能力開発協会	017-738-5561	石川県職業能力開発協会	076-262-9020	鳥取県職業能力開発協会	0857-22-3494
岩手県職業能力開発協会	019-613-4620	福井県職業能力開発協会	0776-27-6360	島根県職業能力開発協会	0852-23-1755
宮城県職業能力開発協会	022-271-9260	山梨県職業能力開発協会	055-243-4916	広島県職業能力開発協会	082-245-4020
秋田県職業能力開発協会	018-862-3510	長野県職業能力開発協会	026-234-9050	香川県職業能力開発協会	087-882-2854
山形県職業能力開発協会	023-644-8562	岐阜県職業能力開発協会	058-322-3677	愛媛県職業能力開発協会	089-993-7301
茨城県職業能力開発協会	029-221-8647	静岡県職業能力開発協会	054-345-9377	福岡県職業能力開発協会	092-671-1238
栃木県職業能力開発協会	028-643-7002	愛知県職業能力開発協会	052-524-2040	佐賀県職業能力開発協会	0952-24-6408
群馬県職業能力開発協会	0270-23-7761	三重県職業能力開発協会	059-228-2732	長崎県職業能力開発協会	095-894-9971
埼玉県職業能力開発協会	048-829-2803	滋賀県職業能力開発協会	077-533-0850	熊本県職業能力開発協会	096-285-5818
千葉県職業能力開発協会	043-296-1150	京都府職業能力開発協会	075-642-5075	大分県職業能力開発協会	097-542-3651
東京都職業能力開発協会	03-6631-6050	大阪府職業能力開発協会	06-6534-7510	宮崎県職業能力開発協会	0985-58-1570
神奈川県職業能力開発協会	045-633-5418	兵庫県職業能力開発協会	078-371-2091	鹿児島県職業能力開発協会	099-226-3240
新潟県職業能力開発協会	025-283-2155	奈良県職業能力開発協会	0742-24-4127	沖縄県職業能力開発協会	098-862-4278

※上記以外の県のお問い合わせ先は、以下の「ビジネス・キャリア検定試験運営事務局」になります。

個人情報の取扱いについて

- お申込みいただきました方の個人情報につきましては、中央・都道府県職業能力開発協会のプライバシーポリシーに基づき、適切に管理します。
- お預かりした個人情報につきましては、受験料の收受、受験票の発送、受験履歴の管理のための電話・メール・郵便による連絡など、ビジネス・キャリア検定試験の運営のために利用させていただきます。なお、個人が特定されない形で、統計調査、運営改善などのために利用させていただく場合があります。
- 中央・都道府県職業能力開発協会は、上記2の業務を実施するうえで、上記1の必要な契約締結のうえ、業務の一部を第3者に委託する場合があります。

【ご確認】 「個人情報の取扱いについて」ならびにその他の受験のご案内の記載事項をあわせてご確認の上、受験申請してください。

受験申請に関するお問い合わせ先

〒101-0042 東京都千代田区神田東松下町 28 番地 4
神田東松下町飯田銀螺ビル（3 階・4 階） 日販セグモ内

【試験全般・個人申請に関するお問い合わせ先】

ビジネス・キャリア検定試験 運営事務局
E-mail: business-career@kentei-uketsuke.com
TEL: 03-6627-6504（年末年始、祝日を除く月～金 10:00～17:00）

【企業一括申請に関するお問い合わせ先】

ビジネス・キャリア検定試験 企業一括申請受付センター
E-mail: info_bc@nippan.co.jp
TEL: 070-2461-4320（年末年始、祝日を除く月～金 10:00～17:00）



〒160-8327 東京都新宿区西新宿 7-5-25
西新宿プライムスクエア 11 階
TEL 03-6758-2836・2909 FAX 03-3365-2716
<https://www.javada.or.jp/jigyuu/gino/business/index.html>

- ※1 ビジネス・キャリア検定試験は、中央職業能力開発協会が主催する検定試験です。
- ※2 中央職業能力開発協会はビジネス・キャリア検定試験を日販セグモ株式会社と連携して実施しています（以下、両者を併せて「実施者」という。）。
- ※3 事由の如何を問わず、検定受験又は検定を受験できなかったことに関し実施者が負担する責任（但し、実施者、実施者の代表者又は実施者の使用する者の故意又は重過失によるものを除きます。）は、直接かつ通常の損害（逸失利益を含む間接損害及び特別損害は含みません。）の範囲に限られ、かつ受験者から受領した受験料の額を限度とします。